

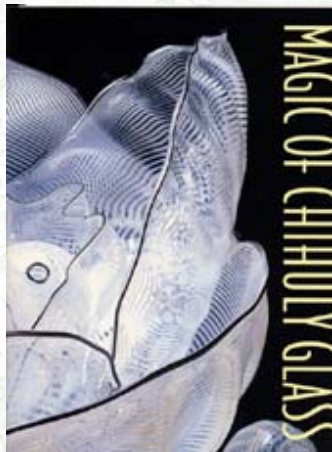
アメリカ現代ガラスアートの巨匠

デイル・チフリー展

現代ガラスアートの第一人者として世界的に高い評価を得ているアメリカ人作家、デイル・チフリー氏（1941～）のわが国初の本格的な展覧会を開催しました。

チフリー氏は、アメリカ・ワシントン州のタコマ生まれ。大学でガラス芸術と出会い、1968年ヴェネチア・ガラスの本場イタリア・ムラノ島で本格的にガラス制作を学びました。帰国後はコブローパイプ（吹き竿）から重力、遠心力を利用して自然にできる形を探求しながら、多彩な色ガラスによる独特の色彩美と造形美を生み出しました。以来世界各地で展覧会を開催して注目を集め、1992年には全米50州の知事が選ぶアメリカ初の「ナショナル・リビング・トレジャー」となり、さらに翌年、活動の拠点としているシアトル市で開かれたAPEC会議の首脳会議場にも作品が展示されました。

本展は、アメリカ・インディアンが使う籠をモチーフにした「バスケット」、太古の貝や海洋生物を思わせる「シーフォーム」、色鮮やかなガラスの大輪「マキア」など彼の代表的なシリーズをはじめ、多彩なガラスオブジェを天井に配した「ペルシャン・シーリング」やガラスの森をイメージした「マキア・フォーレスト」など、多数の作品を組み合わせることで幻想的な空間をつくるインスタレーション（設置芸術）で構成、壮大なスケールのチフリー芸術の全容を紹介しました。氏が作り出すガラスの魔術ともいべき多彩な作品、インスタレーションを一堂に展示しました。



※この図録は現在当館では扱っておりません。

会期／平成9年5月3日（土）～7月21日（月）

会場／特別展示室1、南蛮美術館室、ホール

主催／神戸市立博物館、読売新聞大阪本社、読売テレビ、美術館連絡協議会

後援／文化庁、アメリカ大使館

協賛／大成建設株式会社、花王株式会社

協力／松下電工株式会社

開催日数／69日

入館者数／74,068人（1,073人／日）

出品件数／88件